



障がい者乗馬センター便り

令和4年4月号

新年度のスタートに当たり（理事長談話）

新型コロナウイルス感染症がなかなかおさまらず終息が見えない中、当センターにおきましても制限された厳しい運営状況が続いていますが、皆様の多大なるご協力とご支援を賜り深く感謝しております。ただし、燃料費や馬の飼料などが高騰しており、経営の逼迫がさらに増すことを懸念しています。

さて、当センターでは、乗馬を通して馬から得られる身体的・心理的・社会的効果をねらったホースセラピーを実施しており、少ない職員とボランティアの方々によって運営が支えられています。しかし、当センターの定款にはまだ取り組めていない事業があります。それが「放課後ディサービス事業」です。この事業をするためにこれまで模索し続け、今年度もしくは来年度に事業展開できるよう目指しています。

当センターの放課後ディサービスは、専門家による個別性を重視した子どもへの療育の提供を土台に置き、その療育をより効果的なものとするために当センターならではの馬を介した支援および援助プログラムを構築し提供したいと考えています。

今年度は当センターが次へのステップへ進むための重要な年度だと捉えています。どうぞこれからも引き続き、皆様のご協力およびご支援をお願い申し上げます。

理事長 今木康彦



新年度の活動が始まっています



4月1日から新年度になりましたが当面は、前年度から変わりなく活動は実行されています。

新年度の活動については、前年度末の3月20日に第4回役員会で、赤字決算見込みの下で新年度年度事業活動計画方針を審議し、それに基づき暫定活動がスタートしています。

現在、前年度活動収支決算が確定したことから新年度活動計画を策定しているところです。これから、新年度最初の役員会でこの活動計画を審議し、5月に予定する通常総会に諮る段取りになっています。

本年度の総会は、新年度事業活動計画の審議と役員任期満了による役員改選期に当たり、極めて重要な総会となります。

前年度までの2年間続いたコロナ関連での活動休止に伴う事業収入減による疲弊した財務状況から新年度事業活動計画は、ウィズコロナが継続する中でどのように財務体質を立ち直すかを賭けた内容が問われることとなります。既に関係者の皆様には、5月分から乗馬トレーニングの受講料増額改定をお願いしました。どうか宜しくご協力お願いいたします。

奇しくも本年度は、当センター開所15周年という記念すべき年であり、この年に「放課後ディサービス事業」のスタートを宣言いたしました。今は、着実な船出を祈る思いで新年度事業活動計画に盛り込むこととなります。



セラピー倶楽部会費改定のお知らせ

本年度の活動計画を検討する過程で、燃料費や飼料等諸物価の高騰等により運営資金不足は如何ともし難く、加えて人件費の改定も不可欠な状況にあります。これらの事情を念頭に新たな事業収入を模索する一方で、セラピー倶楽部会費の増額改定を5月1日付で行うことについて現会員方々へお願いのご連絡を行いました。

今回の増額改定内容では、当センターの主要業務である障がい者乗馬の直接経費を賄えるだけの増額改定ではありません。不足部分について事務局では、事業収入の増額方策を模索する一方で寄付のお願い等、具体的な行動を行っていますので、関係者の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。



放課後ディサービス事業の 取組について



当センターは、2008年の発足時から馬を介在した障がい者の福祉サービスの提供を目指し、その一環として障がい者乗馬を行ってきました。しかし、「障害児相談支援及び通所支援事業」については、これまで手つかずにいました。

当センターでは、発足以来10年目の節目を迎えた2017年頃から福祉サービス提供の検討を続けてきた結果、2019年に「放課後ディサービス事業」の具体化に取り組んできました。

その間、障害福祉サービス関係の法・条令等の改正があり管理責任者や児童指導員等の資格要件が変更され、資格保有者の確保が難しく中断していました。

ここにきて、当センターの我孫子理事が昨年末の12月に「児童発達支援管理責任者」の資格を取得したことから、開所の目途が付き、早速準備を再開することにしました。



<借上げ予定の家>

事業所の開所場所は、中央区宮の森の空き家借り上げを予定し、現在、従業員（「児童指導員又は保育士」資格者）の募集を行っていますので、皆様からの情報提供もお願いします。

現在の取組現状は、従業員（児童指導員又は保育士）が確定次第、借上げ空き家の内部造作と申請事務手続きを開始することにしています。

その一方で、当センターが提供する放課後ディのサービス内容についていろいろと模索する中で、乗馬トレーニング事業と放課後ディ事業の両事業を実行する体制の調整を行いつつ、放課後ディの魅力あるサービス内容を検討しているところです。

小次郎ジュニアの馬車引き訓練

そらぶちキッズキャンプの受託業務一環で馬車を引く業務がありポニーの小次郎が担当していました。その小次郎が昨年で引退し、新たに馬車引きの経験馬として小次郎・ジュニア（通称ジュニア）が入厩しています。

当センターの馬場状態の雪解け・乾燥状況を待ち、漸く4月7日にジュニアの馬車トレーニングを始めました。

ジュニアの馬車引きと担当者の馬車装着・御者業務で、と両者は、この馬場で訓練を続け、5月中旬から始まるそらぶちの馬車引きデビューに向け、無事に役割を果たせるようにと、担当者は張り切っています。



新馬紹介

昨年11月から小次郎ジュニア、パール及びハチの3頭が入厩しているので紹介します。

小次郎ジュニアは、28歳の老齢の小次郎の後継馬として購入した6歳のポニー馬（オス）で、馬車引き訓練で紹介しました。

パールは、調教に時間を要していた馬あかねとの交換馬で入厩した19歳のアラブ種オスで、すでに子供たちの乗馬に活用されています。

ハチは、3歳のクイオーージュ種オスで今秋10月までの期限付きで入厩している馬で、現在どのように活用できるか試用中の馬です。

この結果、現在の飼養馬は、7頭＋試用馬の8頭となっています。



パール:19才



ハチ:3才